

おおつかおきあいごかい

大塚沖愛護会（木島平村）

・組織の活動面積	A=	89	ha
・組織の構成員数	約	100	人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 ■
取組開始年度	平成19年～	—	平成23年～

構成員	農家、南鴨・高石自治会、南鴨育成会、大塚山夏祭り実行委員会、市之割沖耕作組合、大塚沖土地改良区
-----	---

組織の概要

地域のシンボル大塚山を中心に広がる水田地帯に、農家と周辺自治会や育成会の子供たちが協力して、雑草を刈り、花桃や草花の植栽で環境整備を行っている。子供たちに田園の美しさをつないでいる。ホタル水路も毎年整備し、大塚山夏祭り実行委員会で、7月初旬にホタル祭りを開催している。7月下旬には実行委員会の夏祭りがあり、緑の田んぼの花火大会として地域に定着している。

ホタルと2尺玉花火が輝く、弥生からの良質米産地 大塚



大塚沖の夕暮れ



懐かしい豊作祈願の馬耕と大塚と小塚をつなぐ鯉のぼり

良食味米の産地として県下初の国際コンクール



共同のフラワーロード 農家・地域の植栽作業



ホタル水路の整備 幼虫の成育に注意して。



育成会の子供たちの春の空き缶拾い



弥生の鉄剣の出土した根塚・大塚を囲む大塚沖